

波紋

1992 9 第87号

ビア・パーティー



まだ梅雨の明けていない7月17日(金)に本社5Fにてビアパーティーが開かれました。晴れなら屋上で行う予定だったのですが、あいにくの雨で5Fになりました。屋内にもかかわらず、ちょうちんも飾り雰囲気は満点でした。私は今回初めて参加しましたが、とても楽しかったです。でも屋外のビアパーティーも1度経験してみたいです。ほんの少し残念でした。

皆様、多数の御参加有難うございました。

辻中まさえ

●交差点

「かえる」

社内報「波紋」が始めて世の中に生まれたのは、七年前の昭和六十年七月でした。牧野部長(当時係長)が初代編集長、二代目橋本さん、三代目伊東係長、四代目水野主任、五代目谷沢君です。ネーミングも社内募集して決定し、「ニューウェイブ」「報連相」等の名前も候補に出していました。

昭和六十年(一九八五年)は岩間係長の入社した年です。現在64名(パートさんも含む)の内30%の20名が在籍していました。七年間で44名増員とは、すごく規模が大きくなったものですね。このスピードで成長しますと、21世紀には二百名の大世帯になります。

会社のマスコット「かえる」にちなんで、初心に帰り、原点に返って「かかんがえる」をしたいと思います。

何事も基本に帰り、行動する事が大切です。技術進歩や、流行、ファッションは変わっても変わらない大事な事が私達の回りに沢山あると思います。

森 信之

トシ君の一方通行

中年になると文庫本が読み辛くなる。

これを世間では老眼と言う。そこで、ぜい沢にも高い新書を買う。でも本にぜい沢するのは神様も誉めてくれそうな気がする。

若い時は文庫本が値打ちで安かったので随分読んだ。今は新書にしている。映画もそうだが、情報は早い方が良い。世の中は目まぐるしく動き、変わる。そして世の中には色々な考え方があふれる。少しでも早く吸収しようという欲は、自分の体のどこかにある。それでも追いつかない気がする。

だけど森松の人間は素晴らしい。あれだけ本を読まずに仕事が出来、会話が出来。きつと天才が多いのだろう。

私は人より能力が落ちているので、吸収しないといけない。森松の社員は羨ましい。新聞も読まない。読まない新聞を何故とっているのか不思議だ。

是非森松にいらして下さい。そして若いのをとつかまえて、世間の動きを聞いてやって下さい。



木村英利

森松クインテット

「アラヤ識」?

人生プラス思考でいきましよう、マイナス思考は、ダメですよ。という言葉をよく耳にしますし、又、自分にも言い聞かせたりがすよね、そして、又、心に思っていることが外界にあらわれる共時性は、私達の日常生活にしばしば起ります。電話をかけよう、思っているとその人から電話があつたり、早く返事をしなければ……と思っていると、返事はまだですか?と言われたり、会いたいなあー、あいたくないなあーと思っていたら、会えたり、会つたり、お金が必要だけれど……と思つていると入金があつたり満期がきていたり、等々、いろんな共時性の出来事に基づかれます。これらを「偶然さ」……で終らせるには、何かひっかかることがある人も多くいると思います。そんな時「得する人」という本を読んでいた「アラヤ識」という言葉に出会いました。「アラヤ」はインド語「識」は日本語で「物をしまつておく意識」記憶の貯蔵庫みたいなものでよく言う潜在意識という言葉に当るそうです。自分が考えたことに感情を入れると「念」になり、それがアラヤ識に記録される。ですから良い考え方悪い考え方に気持が入つて深層意識の奥底にあるアラヤという記憶の貯蔵庫に充滿します。そして将来の結果を起す原因体になり、熟長拡大する期間があつて熟成が終ると外へ出て結果が出てくるといいます。ですから、人生はプラス思考でいかないと良い結果が生まれれないのだと考えられます。私も人生の折り返し点に入り(百才までは生きる)と考へているので……これからは夢みる「夢子」でいろんな楽しいことばかり考へるようにして!!(プラス思考)皆で楽しく仕事をしていこう!!と思ひました。

森 ちか

喜怒哀楽

つい先日まで、バルセロナオリンピックが行なわれていました。私も非常に関心があり夜遅くまで、テレビを見ていました。各国の代表選手の迫力ある演技や競争には、手に汗を握りながら観戦したものです。日本選手の活躍もすばらしかつたと思います。日本の代表というプレッシャーの中で、よくがんばつたと思います。しかし、金が何個とか、銀が何個とか、よくテレビ、新聞等で各国のメダルの個数を聞いたりしました。何か、メダルを取つたか、取れなかつたかで、選手たちを見るような、何か、いやな感じがしました。選手たちは、自分の持つ力や技術をせいぜいいっぱい出し切つて、各自が、がんばつた結果が、どうであれ、それは、すばらしいことであると思います。毎日、毎日、練習に日々練習で勝ち上がり、代表になつた選手たちの努力の賜だと思ひます。私は日本や各国の代表の方に拍手を送ると共に、心からありがとうと言ひたい気持ちです。また、四年後を期待しています。

吉岡 孝記

新入社員紹介

平成四年七月十日に入社致しました楠高雄です。

昭和四十三年八月二日生の二十四歳です。今は、要工場でNCカッター（裁断機）を使ってデスクマットを裁断しています。

前の会社では、機械加工、コンピューター抜刃型（トムソン型）及び、NC裁断機のメンテナンス等をやったので、それを今の仕事に役立てていきたいと思えます。

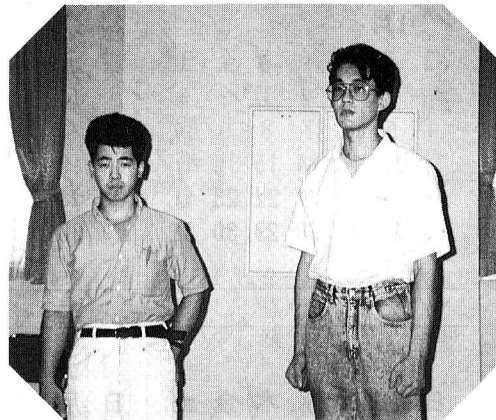
今はまだ、仕事でわからない事ばかりあるので迷惑をかけると思いますが、一生懸命がんばりますのでよろしく願います。

楠 高雄

私が入社して、約一ヶ月が経とうとしています。まだわからないことばかりで、不安だらけの毎日です。しかし仕事面、そして人間関係にもだいぶ慣れてきました。

今後共、みなさんに御迷惑をかけることはありませんが、よろしく願います。

平野 豊 和



△ 平野さん 楠さん △

8月度最優秀改善提案賞発表

サークル名 ● キヤロット

提案者 ● 岩田 ひとみ

題 ● 出荷依頼書の作成について

今回で改善提案も6ヶ月経過しました。来月号では6ヶ月間の最多提案賞を発表致します。たくさん提案したと思われる人は楽しみにして下さい。

改善委員会 議長

山口 隆 弘

暮らしのエッセイ

今年の三月に笠寺から稲沢へ引越しをして五ヶ月が過ぎようとしています。住み慣れた家（笠寺）から離れた訳ですが、子供達は、やはり友達と離れる事が、辛かった様です。私自身は、未練もなく離れる事ができました。名古屋から稲沢へ引越してからの出来事を三つ紹介します。

○夜になるとカエルの合唱（ゲロゲロ、ゴゴ）が始まり、うるさくって睡眠不足となりました。名古屋に住んでいたなら、こんな経験もしないで済んだ事でしょう。

○我家の子供は、二人共ぜん息で、笠寺に住んでいる時は、夜中に何回も病院へ走りまわりましたが、稲沢へ引越してからは少し良くなった様に思います。

○長男の篤志（小学三年）は、笠寺に住んでいる時は、学校へ行く以外は、家でファミコンばかりして、外で遊ぶ事はほとんどありませんでした。しかし稲沢へ引越してからは、友達数人と田んぼで泥だらけになり、カエル、おたまじゃくし等を捕まえては、公園のすべり台からカエルをすべらして、競走させるトリナメントを開催して遊んでいます。顔も日焼けしてまっ黒になり野生化した子供を見て、親は喜んでます。

稲沢は田舎と言っても、JRで名古屋まで10分、飲食店、パチンコ店等も多くあり、空気もおいしく、のんびりして住むのには最高の環境だと満足しています。

女房と最初に出会ったのも稲沢です……。

村田 恒 夫

9月の社内行事

1日(火)	宮岸さん誕生日
3日(木)	加藤先生来社
5日(土)	第一土曜日休み
7日(月)	編集委員会 十八時より
8日(火)	野球親善試合 対三河屋(株)様一宮市民球場
"	筒井さん誕生日
11日(金)	素麺会 十八時より
12日(土)	第二土曜日休み
13日(日)	王さん誕生日
14日(月)	安井課長誕生日
15日(火)	敬老の日
16日(水)	改善委員会 十八時より
19日(土)	第三土曜日休み
21日(月)	生産会議 横山次長誕生日
"	"
23日(水)	秋分の日
24日(木)	豊作会 十八時より
25日(金)	連根会 十八時より
26日(土)	経営会議 十五時より 営業会議 十七時より
"	"
27日(日)	東京パック
30日(水)	35期決算

1992年カレンダー(10月~12月)

販売部門

- 経 理
- 営 業
- 配 送
- 荷 受

△…交替休日

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	①	2	③	4	5	6	⑦			1	2	3	4	⑤
④	5	6	7	8	9	⑩	⑧	9	⑩	11	12	13	⑭	⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑮	16	17	18	19	20	21	⑬	14	15	16	17	18	⑰
⑱	19	20	21	22	23	⑳	㉒	㉓	24	25	26	27	28	㉒	21	22	㉓	24	25	㉔
㉕	26	27	28	29	30	31	㉖	30						㉗	28	29	30	31		

生産部門

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	①	2	③	4	5	6	⑦			1	2	3	4	⑤
④	5	6	7	8	9	⑩	⑧	9	⑩	11	12	13	⑭	⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑮	16	17	18	19	20	⑰	⑬	14	15	16	17	18	⑰
⑱	19	20	21	22	23	24	㉒	㉓	24	25	26	27	28	㉒	21	22	㉓	24	25	26
㉕	26	27	28	29	30	31	㉖	30						㉗	28	29	30	31		

編集後記

九月に入り、あの楽しかった(?)夏も終わりに近づいてきました。皆さん、夏の思い出はたくさん出来ましたでしょうか?

今年の夏は、もう二度ときません。その思い出を大事にとっておきたいですね、(いい事も悪い事も)

さて、もうすぐ秋。秋はどんな思い出をつくりましょう? その日、その時を大切に過ごしていきたいと、最近私は思っています。

水野陽子

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
谷 澤 享
平成4年9月1日
第87号